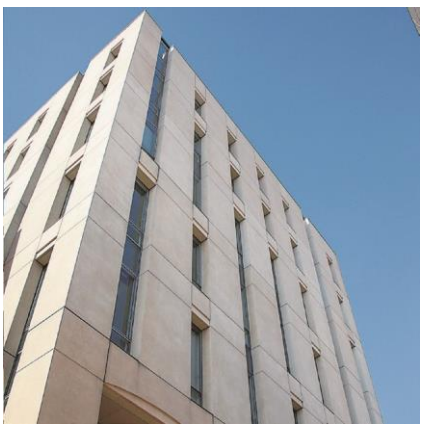
2025



一般社団法人 日本経営会計専門家協会

経営会計専門家プログラム

経営会計専門家

Management Accounting Professional

経営会計の専門家として必要な知識とマインドセットを

経営会計専門家は会計専門職大学院を修了し、会計事務所のミドルマネジャーやそれを目指す方向けに設計されています。

会計事務所のミドルマネジャーとして企業と伴走するときには広範な知識が求められるとともに、チームを率いていくといった能力も必要です。経営会計専門家養成プログラムでは全国の連携大学院と協力し、企業の課題解決に必要な知識とそれを実行する能力を会得することを目標としています。

学習の流れと資格認定

step1 連携大学院で学ぶ

- 連携大学院で所定の単位を取得すること
  経営会計専門家養成プログラム指定科目から
  管理会計系科目 / ファイナンス科目 / 経営学系科目 / そのほかの科目
  合計 20 単位以上の取得が必要（2006 年以降の取得単位が対象）
- 連携大学院教員 1 名以上の推薦を受けること
- 集合研修を修了すること

step2 実践し、経験を積む

- 経営会計専門家養成プログラムを修了すること
- 公認会計士（準会員を含む）・税理士・中小企業診断士の資格を取得すること
  同等とみなせる USCPA、USCMA、GCMA を含む
- 3 年以上の実務経験を積むこと
  会計事務所やコンサルティングファーム、上場企業や地方自治体等の経理・財務部門での勤務経験を指す
- 連携大学院教員 1 名を含む、2 名以上からの推薦を受けること（自薦は不可）

一般社団法人 日本経営会計専門家協会理事会で附議され承認される

経営会計専門家養成プログラム修了認定

集合研修受講から 3 年以内にプログラム修了認定申請を行ってください
一般社団法人 日本経営会計専門家協会「準会員」へ

※準会員は集合研修から 8 年という期限があります

経営会計専門家資格認定

集合研修受講から 8 年以内に資格認定申請を行ってください
一般社団法人 日本経営会計専門家協会「会員」へ

経営会計専門家資格認定までのモデルケース

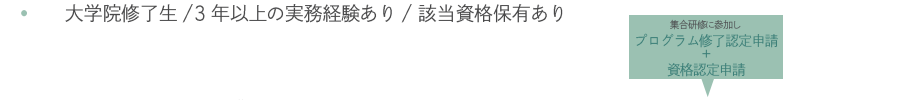
- 大学院在学中 / 実務経験なし / 該当資格保有なし

大学院在学中に所定の単位を取得し、集合研修に参加する。
→プログラム修了認定
大学院修了後、実務を積みながら（3　年）、該当資格を取得する。
→資格認定

大学院在学期間
- 所定の単位を取得する
- 集合研修に参加する

会計事務所での実務経験
- 該当する資格を取得する
- 3 年以上の実務経験を積む

- 大学院修了生 /3 年以上の実務経験あり / 該当資格保有あり



大学院を既に修了しており、2006　年度以降の該当する単位を取得している。大学院修了後、該当資格を取得し、3　年以上の実務経験を積んでから集合研修に参加した
→プログラム修了認定＋資格認定

大学院在学期間
- 所定の単位を取得した
  （2006 年以降）

会計事務所での実務経験
- 集合研修参加時点で既に 3 年以上の実務経験がある
  （集合研修前までの実務経験も加味されます）
- 該当資格を保有している

集合研修 応募要項

実施日時	2025年 8 月 2 日（土）～ 3 日（日）
出願方法 必要書類	募集要項ならびに出願書類の書式は、一般社団法人 日本経営会計専門家協会 HP（https://www.jimap.jp/wp/）からダウンロードいただくか、一般社団法人日本経営会計専門家協会事務局より電子メール添付にて送付します。メール送付のご希望者は当協会事務局（info@jimap.jp）にご連絡ください。 ［必要書類］（出願資格 (2) の場合、②は不要） ①　プログラム受講申込書【所定用紙】 ②　連携大学院教員推薦状（1 名）【所定用紙】 ③　写真データ（4cm × 3cm）1 枚
出願期間	～ 2025年 7 月 25 日
開催場所	早稲田奉仕園（東京都新宿区西早稲田2-3-1、詳細は参加者に通知します）
受講料	33,000 円（税込） ※一般社団法人日本経営会計専門家協会へお振込みください。 受講料には集合研修における昼食・懇親会費用が含まれます。**会場までの交通費並びに宿泊費は各自でご負担ください。** なお、コロナ等の状況によりオンライン開催となった場合でも受講料の返金は致しませんのでご了承ください。

[経営会計専門家養成プログラム指定科目例] 早稲田大学大学院の場合 (2025 年度)

財務会計
財務会計 A / 財務会計 B / 財務会計 C / 金融機関の会計 / グローバル会計入門

管理会計
基礎管理会計 / 管理会計 I / 管理会計 II / 管理会計III / 基礎原価計算 / 原価計算 A/ 原価計算 B/ パブリックセクターの管理会計 / 管理会計情報のデータ分析 / 企業評価 / 財務分析 / FP&A入門 / FP&A研究

財務・非財務戦略と企業価値 / 事業再生と再生型M&A / パフォーマンスマネジメントWS / 事業戦略管理会計 WS / 原価計算実務 WS

経営学／データサイエンス／アクチュアリー
数理統計基礎 / ビジネス数学の基礎 / データサイエンス I / 経営財務 / 統計ソフトによるデータ解析 / 人的資源管理 / マーケティング論 /CRM 実務

Professional Communication
Corporate Fraud Case Studies/ International Business News and Trends/ International Negotiation/ Corporate Governance

[連携大学院 (五十音順)] 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科；小樽商科大学大学院商学研究科；関西大学大学院会計研究科；京都大学経営管理大学院；熊本学園大学大学院会計専門職研究科；東北大学会計大学院；明治大学専門職大学院会計専門職研究科；早稲田大学大学院会計研究科

集合研修

経営会計専門家養成プログラムでは、連携大学院合同で 2 日間の集合研修を実施します。実際の事例をもとに作成した教育的なケースを用いて、班ごとにディスカッションを行います。それぞれの発表終了後には全体に対する講評とそれぞれの班へのフィードバックを受けることができます。他の大学院の学生だけでなく、実際に経営コンサルティングを実施している専門家や経営会計専門家の先輩との交流を通じて、経営会計専門家として必要なスキルの取得を目指します。

1 日目

プロジェクト全体説明 10:30~11:00	経営会計専門家とはどういう存在か。経営会計専門家養成プログラムの目的を説明します。
基礎知識の確認 11:00~12:30	グループワークに際して必要な知識を復習します。テーマは集合研修で扱うケースごとに変更します。
グループワーク 13:30~16:30	連携大学院の垣根を超えたグループを編成し、それぞれの班ごとにディスカッションを行います。
実務家による講演 16:30~18:00	経営コンサルティング・管理会計に精通した実務家による講演が行われます。

2 日目

グループワーク 9:30~14:00	前日のグループワークを踏まえながらさらに一歩進んだトピックについてディスカッションします。
グループワーク発表 14:00~15:00	グループワークで行ったディスカッションの結果を発表し、班の間での相互フィードバックを得ます。
講評 15:00~15:30	グループワークについて、全体講評およびそれぞれの班へのフィードバックを得ます。
研究者による講演 15:30~17:00	連携大学院の研究者による講演が行われます。

小樽商科大学 大学院商学研究科 教授
簇本 智之

経営者に寄り添える会計人を育成するために

経営会計専門家養成プログラムは，経営者と並走し共に課題を解決していく会計人を育成するために開発されました。上級経営会計専門家が事務所のトップマネジメントに向けたものであるとすると，経営会計専門家は実際にクライアントである経営者と直接やりとりをする方に向けて設計されています。

経営会計専門家として経営者と向き合うときに必要な知識は広範囲にわたります。原価計算や簿記，財務分析，企業価値評価，管理会計などの会計に関する知識だけではなく，マーケティングや人的資源管理についても学習している必要があります。それぞれの大学院の講義を受講しこれらの知識を獲得します。

さらにこうした知識だけではなくそれを自身が働く会計事務所のチームメンバーあるいはクライアントである経営者にどう伝え，説明するのかといった対人スキルも求められます。集合研修では大学院の壁を越えて一堂に会し，また日々現場で働かれているメンターの方からのフィードバックを得ることで，こうしたスキルを磨きます。

募集人数	30 名以内
出願資格	出願時に、次の(1)または(2)の条件を満たすこと。 **(1) 連携大学院からの推薦者（以下の①②の要件を満たす者。CPA等の資格保有は求めない。ただし、日本の他大学正規課程に在学中の者は出願不可。）** ① 連携大学院に在籍している者、および 2006年以降に在籍していたことがある者 ② 連携大学院教員 1 名以上からの推薦 **(2) 連携大学院の設置大学の出身または同大学の養成課程を修了した中小企業診断士**
選考方法	書類審査にて行います
受講者発表	電子メールにて通知します
お申し込み先	一般社団法人 日本経営会計専門家協会事務局 info@jimap.jp tel: 03-6214-2455

・集合研修

実施日程：2025年8月2日（土）～8月3日（日）
実施方式：対面方式
実施場所：早稲田奉仕園（東京都新宿区西早稲田2-3-1）

実務家による講演：「管理会計による採算構造の把握と改善の実践」

株式会社吉田経営システム 代表取締役
中小企業診断士、経営コンサルタント
一般社団法人 大阪中小企業診断士会 理事
関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師

大学卒業後、業種業界の異なる３社に勤務し、営業・経理・技術職に従事。中小企業と大企業の管理職を務めた経験がある。京セラグループでは経営管理部門の管理職を歴任し、アメーバ経営を実践していた。

2013年の独立後は創業支援、事業再生支援など事業全体を俯瞰した現場の実行支援が多い。 特に経営数字（管理会計）とビジネスモデルを捉えた効果的な策を得意としている。支援対象は業種業界を問わず、規模は個人事業から上場企業まで広い。

2024年度 中小企業経営診断シンポジウムにて、経営革新支援事例の論文を発表し、最優秀賞（中小企業庁長官賞）を受賞。

講師：吉田 喜彦氏

研究者による講演：「臨床会計学のすすめ」

京都大学経済学部、京都大学大学院経済学研究科修士課程、同博士後期課程退学。博士（経済学）。立命館大学助教授、九州大学助教授等を経て、現職。日本管理会計学会副会長、日本原価計算研究学会理事、 メルコ学術振興財団理事。

著書（共著含む）に『アメーバ経営学: 理論と実証』、『次世代管理会計の構想』、『次世代管理会計の礎石』、『会計事務所の経営支援』などがある。

講師：澤邉 紀生氏

お問い合わせ先

一般社団法人　日本経営会計専門家協会事務局

〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-4-2
一広グローバルビル 9 階　株式会社日本 BIG ネットワーク内
TEL:03-6214-2455
Email: info@jimap.jp